

協会協議会  
広報

## 普通高で魅力PR

### 「進路ガイダンス」参加

国土交通省や建設業団体などで組織する「建設産業戦略的広報推進協議会」（事務局・建設業振興基金）は、児童・生徒に建設業の魅力や役割を直接語りかけるキャラバン活動の一環として、埼玉県立鳩山高校が18日に初開催する「進路ガイダンス」に参加する。普通高校での活動は同協議会としても初めて。

進路ガイダンスには大学や専門学校、地元企業など約40団体がブースを開設する。対象は2年生136人で、同協議会のブースには1日3回の説明に、女子生徒1人を含む計17人が訪れる予定。

国交省と振興基金の担当者が、土木と建築の違いを始め、専門工事の職種や災害時の活躍内容、建設業のキャリアパスなどを分かりやすく説明する。